

令和8年度学芸員専門研修アドバンスト・コース実施のお知らせ

国立科学博物館では自然科学系博物館等に勤務する中堅学芸員の方を対象に、一層の資質向上を目的として高度な内容の研修を実施いたします。

1. 主 催：独立行政法人 国立科学博物館、全国科学博物館協議会
2. 期 間：令和8年11月10日（火）～11月13日（金）（4日間）
3. 内 容：
岩石・鉱物の標本収蔵法と観察法についての解説と、子供を対象とした体験実習の提案、議論及び実践を行う。
4. 会 場：国立科学博物館 筑波研究施設
5. 対 象：
自然科学系博物館またはその他の博物館等において、岩石・鉱物分野を担当する中堅学芸員等専門職員の方。（ご自身の研究分野が岩石・鉱物ではない方も対象です。）
6. 募 集：令和8年7月1日（水）から9月6日（日）
7. 人 数：10名程度（定員の半数に達しない場合は中止とすることがあります）
8. 受講者の推薦手続き：
令和8年9月6日（日）までに各所属先の長は適任者を選考のうえ、メールにて次の2点を担当宛てにご送付ください。
①受講申込者調書（別紙様式1） ②推薦書（別紙様式2）
9. 受講者決定：
国立科学博物館長は受講申込者調書に基づいて受講者を決定し、各所属先の長に通知いたします。
10. 受講が決定した方には、研修に関連した提出物を事前に提出していただきます。
詳細や記入いただく様式は、受講決定後に受講者宛にご連絡します。
① 2日目の「サイエンスコミュニケーション基礎講座」に関連して、貴館で実際に実施しているプログラムを3つ共有していただきます。
② 3、4日目の「子供を対象とした岩石・鉱物の体験実習の提案、議論、実践」に関連して、新たな子供向けの実習内容を1つ提案していただきます。
（研修では、事前提出した実習を各自解説したうえで、受講者全員で議論や実践を行う予定です。）

11. 修了証書：全課程を修了した方には修了証書を発行いたします。
12. 受講費：
 (1) 受講費用は無料です。
 (2) 受講に要する教材費等実費・保険料等は受講者側の負担となります。
13. 交通費等の支援
 (1) 受講が決定した場合、希望した方には、上限を5万円として受講に要する交通費等の支援を行います。希望の有無を受講申込者調書にご記入ください。
 (2) 支援の範囲は本研修に参加するための往復交通費及び宿泊費等です。当館の規程に基づいて支給します。

独立行政法人国立科学博物館旅費規程

<https://www.kahaku.go.jp/kahaku/houjinn/hourei/>

スケジュール

期日	時間	内容	会場
10日 (火)	12:30～13:00	集合・受付	国立科学博物館 筑波研究施設
	13:00～13:30	開講式・オリエンテーション	
	13:30～16:00	岩石・鉱物標本収蔵方法	
	16:00～16:30	情報交換会	
11日 (水)	9:30～12:00	火成岩の組織	
	12:00～13:00	昼食・休憩	
	13:00～14:30	火成岩の組織	
	14:30～16:30	サイエンスコミュニケーション基礎講座	
12日 (木)	9:30～12:00	子供を対象とした岩石・鉱物 実習体験	
	12:00～13:00	昼食・休憩	
	13:00～16:30	子供を対象とした岩石・鉱物の 体験実習の提案、議論、実践①	
13日 (金)	9:30～11:30	子供を対象とした岩石・鉱物の 体験実習の提案、議論、実践②	
	11:30～12:00	修了式	

詳細

11月10日(火)

○岩石・鉱物標本収蔵方法

時間：13:30-16:00

講師：理学研究部 地学研究グループ 研究主幹 堤 之恭
理学研究部 地学研究グループ 研究主幹 門馬 綱一

内容：収蔵庫の見学および標本管理に関する解説を行う。

○情報交換会

時間：16:00-16:30

講師：理学研究部 地学研究グループ 研究主幹 堤 之恭
理学研究部 地学研究グループ 研究主幹 門馬 綱一

内容：各館の課題等についての情報交換を行う。

11月11日(水)

○火成岩の組織

時間：9:30-12:00、13:00-14:30

講師：理学研究部 地学研究グループ グループ長 谷 健一郎
理学研究部 地学研究グループ 研究主幹 堤 之恭
理学研究部 地学研究グループ 研究主幹 門馬 綱一
理学研究部 地学研究グループ 研究員 林 秀幸

内容：3日目に行う火成岩組織の再現実験と関連して、実際の火成岩の組織の観察とその成因の解説を行う。

○サイエンスコミュニケーション基礎講座

時間：14:30-16:30

講師：国立科学博物館学習支援部学習課

内容：各館で実施している事業の情報交換を含めた、博物館におけるサイエンスコミュニケーションの実践と活用についての講座を行う。

11月12日(木)

○子供を対象とした岩石・鉱物実習体験

時間：9:30-12:00

講師：理学研究部 地学研究グループ グループ長 谷 健一郎
理学研究部 地学研究グループ 研究主幹 堤 之恭
理学研究部 地学研究グループ 研究主幹 門馬 綱一
理学研究部 地学研究グループ 研究員 林 秀幸

内容：受講者に子供向けの実習内容を事前提出していただく際に、参考として当館から提示する実習を、実際に体験する。

具体的には、食品添加物のため安全性が高い甘味料「エリスリトール」を用いた火成岩組織の再現実験と考察、応用実験を行う。

○子供を対象とした岩石・鉱物の体験実習の提案、議論、実践①

時間：13:00-16:30

講師：理学研究部 地学研究グループ グループ長 谷 健一郎
理学研究部 地学研究グループ 研究主幹 堤 之恭
理学研究部 地学研究グループ 研究主幹 門馬 綱一
理学研究部 地学研究グループ 研究員 林 秀幸

内容：事前に提出していただいた子供を対象とした岩石・鉱物関連の体験実習の提案について、各受講者から解説し、提案に関する議論と実践を行う。

11月13日(金)

○子供を対象とした岩石・鉱物の体験実習の提案、議論、実践②

時間：9:30-11:30

講師：理学研究部 地学研究グループ グループ長 谷 健一郎
理学研究部 地学研究グループ 研究主幹 堤 之恭
理学研究部 地学研究グループ 研究主幹 門馬 綱一
理学研究部 地学研究グループ 研究員 林 秀幸

内容：事前に提出していただいた子供を対象とした岩石・鉱物関連の体験実習の提案について、各受講者から解説し、提案に関する議論と実践を行う。

○問い合わせ先及び受講申込者調書等の提出先

国立科学博物館 学習支援部 学習課
学習支援担当 小林・鈴木

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL:03-5814-9187・9166

E-mail:jinzai@kahaku.go.jp

筑波研究施設へのアクセス



つくば駅（つくばセンター）→国立科学博物館筑波研究施設（西門）

■路線バス

つくば駅隣接の「つくばセンターバスターミナル」から下記の路線バスをご利用ください。

- ・つくバス 北部シャトル（3番乗り場）
→「天久保（筑波実験植物園前）」下車（片道約5分、200円）＋徒歩5分
- ・関東鉄道 テクノパーク大穂行き（5番乗り場）
→「筑波実験植物園前」下車（片道約4分、190円）＋徒歩5分
→「筑波技術大学産業技術学部」下車（片道約5分、230円）＋徒歩5分
- ・関東鉄道 筑波大学循環左回り（6番乗り場）
→「天久保二丁目」下車（片道約6分、190円）＋徒歩12分
→「天久保池」下車（片道約7分、230円）＋徒歩10分

■タクシー

「つくばセンター」から「筑波研究施設」までご利用の場合、5分ほどかかります。（約3km）

学芸員専門研修アドバンスト・コース 受講申込者調書

令和8年 月 日

ふりがな			年齢	
氏名				
所属	名称			
	職名			
	職務内容			
	所在地	(〒 -) (勤務先の電話番号) - -		
	メールアドレス			
	緊急連絡先	(ご本人の携帯電話の番号)		
所持資格 (資格取得年月日)		(年 月 日)	(年 月 日)	
博物館の経験年数		年	ヵ月	
当館で実施した学芸員 専門研修の受講歴				
所属館等での担当分野 (ご自身の専門分野と異なる場合は 専門分野も()書きでご記入ください)				
受講希望動機				
交通費・宿泊費の支援 (上限5万円)		希望する	希望しない	
支援を必要とする理由を ご記載ください (上記で希望すると回答した方のみ)				
本研修で学びたい事・ 疑問点などご自由に ご記載ください				

※国立科学博物館学習支援部 学習課 学習支援担当宛にお申し込みください

推 薦 書

令和8年 月 日

独立行政法人
国立科学博物館長 殿

所属先の長
氏 名

学芸員専門研修アドバンス・コース受講者の推薦について

このことについて、下記の者を推薦します。

記

所 属 ・ 職 名	氏 名

以上